

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	各区防災備品整備事業					
事業の概要	有事の際の初期消火等は地域住民で対応できるよう以前より自主防災組織の育成を行ってきており、自治会が計画的に整備・管理している消火栓ホース格納庫・ホース等において、破損・不足しているものについて、各区一括整備を行うものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	1,330	本年度事業費	1,330	交付金交付額	665
事業の必要性	以前より有事の際の初期消火等は、地域住民で対応できるよう自主防災組織の育成を行ってきており、更なる組織の充実及び育成を図るものである。					
事業の有効性	有事の際の地域住民による迅速な対応が可能となる。また、地域住民の防災意識の高揚、安心・安全対策の推進並びに安心・安全な生活環境の創出を図る上において効果的かつ有効性の高い事業といえる。					
事業の効率性	有事の際の地域住民による迅速な対応が可能となる。また、地域住民の防災意識の高揚、安心・安全対策の推進並びに安心・安全な生活環境の創出を図る上において効果的かつ有効性の高い事業といえる。					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果 旧野田川町では平成14年度から各自治区に消火栓指導組織を設置し、住民が付近の消火栓を使用して初期消火活動が行えるように指導を行っており、町民への防火意識の高揚及び、有事の際の住民の自主性を高める効果等が得られている。					
	3 リーディング・モデル成果 自治会主体による自主防災意識が高揚することにより、他の自治会への波及効果が期待ができる。					
	4 広域的波及成果 自治会主体による自主防災意識が高揚することにより、他の自治会への波及効果が期待ができる。					
	5 行財政改革に資する成果 各自治区の備品を一括発注・整備したことにより、コストダウン等を図ることが可能となった。					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。